

～6月に園内で発生した感染症～

- ・胃腸風邪 が流行しました。『普通便が出るまで』の対応にご協力下さり、ありがとうございました。
- ・咳鼻水の風邪 長引いたり、悪化するケースが多かったです。
- ・とびひ(疑いを含む) 虫刺され後など、とびひの一手手前の症状が出ている子が増えています。とびひになる前の早めの受診と対応が、広がりを防ぎます。

とびひと診断されたら、患部をガーゼで覆って登園して下さい。とびひでなくても、浸出液が出ている傷の場合は、ガーゼで覆ってきて下さい。(替えのガーゼとテープを持参して下さい)

範囲が広い場合や痒みが強い、口周りや頭など患部が覆えない場所の場合は、症状が落ち着くまで登園を控えて下さるようお願いいたします。

～熱中症対策～



暑さ指数(WBGT)	活動の目安	注意事項
(31以上) 危険	すべての活動で熱中症がおこる危険性	外出はなるべく避け、涼しい室内で生活する
(28以上31未満) 厳重警戒	掃除などの活動でもおこる危険性	外出時は炎天下を避け、室内では室温の上昇に注意
(25以上28未満) 警戒	激しい運動などでおこる危険性	運動や激しい作業をする際は定期的に充分な休息を取る
(25未満) 注意	激しい運動などでおこる危険性	危険性は少ないが激しい運動や重労働時には熱中症の可能性も

※日本生気象学会「日常生活における熱中症予防指針Ver.4」(2022) 参照

保育園では、熱中症指数計を外に設置しています。暑さ指数を見ながら、外遊びの時間やプールの時間を短縮したり、時には中止の判断をし、子どもたちに無理のない活動内容で保育を行います。室内はエアコンを使用して室温湿度の調整を行い、水分補給の声かけをしながら体調の変化に気を配っています。

ご家庭でも、バランスのいい食事、十分な睡眠で、規則正しい生活リズムを心がけ、暑い夏を乗り切りましょう。



～保健指導～

年長さんを対象に、性教育を行いました。人に見せない触らせないプライベートゾーンについて、年齢に合わせて話をしました。年少さん年中さんにも、「お風呂は裸で入るのに、なんでプールは水着を着るのかな?」「大切な場所だから、隠して守っているよ」と、少しだけ話をしました。

内科健診、歯科検診、検尿の結果は、異常があった方のみお伝えしています。
用紙をもらった方は、早めに受診をお願いします。